



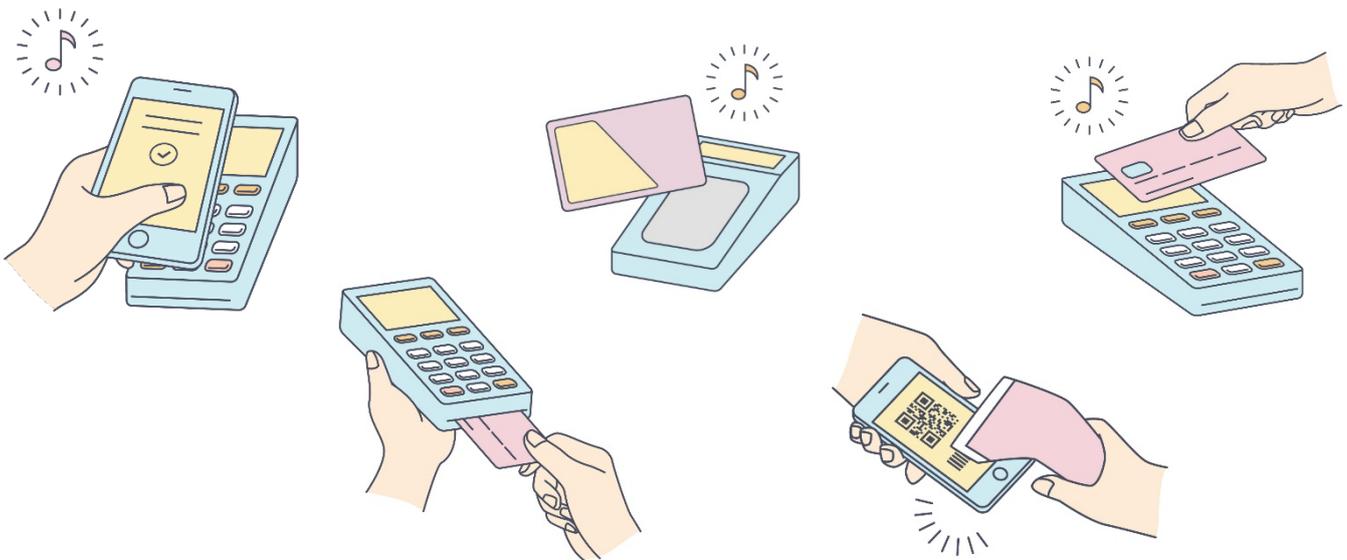
経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

## キャッシュレス関連用語集

商務情報政策局 商務・サービスグループ

キャッシュレス推進室

2019年6月



## 用語一覧

あ行.....	7
アクセプタンス・マーク (acceptance mark) / 利用可能表示 ☆☆.....	7
アクワイアラー (acquirer) ☆☆.....	7
後払い ☆.....	7
アプリ / アプリケーション (application) ☆.....	8
イシューアール (issuer) ☆☆.....	8
一次元コード ☆☆.....	8
インターチェンジ・フィー (interchange fee) ☆☆.....	9
インターネット・バンキング (internet banking) ☆☆.....	10
インバウンド (inbound) ☆☆.....	10
ウェアラブル・デバイス (wearable device) ☆☆☆.....	10
ウォレット (wallet) ☆☆☆.....	10
オーソリゼーション (authorization) ☆☆.....	10
おサイフケータイ ☆☆.....	11
オフアス取引 (off-us) ☆☆☆.....	11
オフライン決済 ☆☆☆.....	11
オンアス取引 (on-us) ☆☆☆.....	11
オンライン決済 ☆☆.....	12
か行.....	12
カード決済 ☆☆.....	12
<small>かっ ぶ ほんばいほう</small> 割賦販売法 ☆☆☆.....	12
ガバメントカード ☆☆☆.....	12
加盟店 ☆☆.....	12
加盟店審査 ☆☆.....	12
加盟店手数料 ☆☆.....	13
加盟店割引料 ☆☆☆.....	13
<small>かわせ</small> 為替 ☆☆☆.....	13
ギフトカード (gift card) ☆☆☆.....	13
キャッシュ・アウト (cash out) ☆☆☆.....	13
キャッシュカード (cash card) ☆☆.....	13
キャッシュレス決済 / キャッシュレス (cashless) ☆.....	14
キャッシュレス決済比率 ☆☆.....	14
キャッシュレス社会 ☆☆.....	14

キャッシュレス決済手段／キャッシュレス・ツール	☆☆	14
キャッシュレス推進協議会	☆☆	14
キャッシュレス・ビジョン	☆☆	14
キャリア決済	☆☆	15
共通ポイント	☆☆☆	15
銀行API「ギンコウエーピーアイ」	☆☆☆	15
銀行法	☆☆☆	15
金融データ	☆☆☆	15
クーポン (coupon)	☆☆☆	15
クラウド会計	☆☆☆	15
クラウドPOS「クラウドポス」	☆☆☆	16
クリアリング (clearing)	☆☆☆	16
クレジットカード (credit card)	☆	16
クレジットカードAPI「クレジットカードエーピーアイ」	☆☆☆	17
クロスボーダー (cross border)	☆☆☆	17
決済	☆	17
決済端末	☆☆	18
決済代行サービス	☆☆	18
決済代行業者	☆☆	18
決済手数料	☆☆☆	19
決済データ	☆☆	19
現金決済	☆	19
口座振替／口振	☆☆	19
交通系電子マネー	☆☆☆	19
コード決済／バーコード決済／QRコード決済	☆	19
コーポレートカード／ビジネスカード／法人カード	☆☆☆	20
国際ブランド	☆☆	20
国際ブランド決済ネットワーク	☆☆☆	21
個人間送金	☆	21
さ行		21
サインレス (signless)	☆☆	21
シェアリングエコノミー (sharing economy)	☆☆☆	21
磁気カード	☆☆☆	21
資金移動業	☆☆☆	21
資金決済法	☆☆☆	22
実証実験	☆☆☆	22
しむけ		
仕向	☆☆☆	22

収納代行 ☆☆☆	23
情報銀行 ☆☆☆	23
シングル・アクワイアリング (single-acquiring) ☆☆☆	23
信用照会端末 ☆☆☆	23
信用販売／販売信用 ☆☆☆	23
スキャナ保存 ☆☆☆	23
スマート化 ☆☆☆	23
スマート・コントラクト (smart contract) ☆☆☆	24
スマートフォン決済 (スマホ決済) ☆	24
スマホ・デビット ☆☆☆	24
生体認証 ☆☆	24
静的QRコード ☆☆	24
接触型ICカード ☆☆	24
セトルメント (settlement) ☆☆☆	24
セルフ・コントロール ☆☆	25
全銀システム ☆☆☆	25
即時払い ☆	25
た行.....	25
タッチ式 ☆	25
チャージ／入金 (charge) ☆	25
チャージ・バック (charge back) ☆☆☆	25
提携カード ☆☆☆	26
デジタル通貨／デジタルコイン ☆☆	26
デジタル・プラットフォーマー (digital platformer) ☆☆☆	26
デビットカード (debit card) ☆	26
デポジット (deposit) ☆☆	27
電子決済等代行業 ☆☆☆	27
電子商取引 ☆☆☆	28
電子タグ ☆☆☆	28
<small>でんしちょうぼほんほう</small> 電子帳簿保存法 ☆☆☆	28
電子マネー ☆	28
電子レシート ☆☆	29
動的QRコード ☆☆	29
トークン決済 ☆☆☆	29
Dongle (dongle) ☆☆☆	30
な行.....	30

なりすまし対策	☆☆☆	30
二次元コード	☆☆	30
日銀ネット	☆☆☆	30
入会審査	☆☆	30
は行		31
バーコード	☆	31
バーチャル・カード (virtual card)	☆☆☆	31
ハウスカード (house card)	☆☆☆	31
<small>はらいこみひょう</small> 払込票	☆☆☆	31
バリュー (value)	☆☆☆	31
ハンドリング・コスト (handling cost)	☆☆☆	31
ビジネスカード	☆☆☆	32
<small>ひしむけ</small> 被仕向	☆☆☆	32
非接触型 IC カード	☆☆	32
フィッシング詐欺	☆☆	32
ブランド・デビット	☆☆	32
ブランド・プリペイド	☆☆☆	32
ブランド・ライセンスフィー (brand license fee)	☆☆☆	32
<small>ふりかえ</small> 振替	☆☆	33
<small>ふりこみ</small> 振込	☆☆	33
プリペイド (prepaid)	☆☆	33
プリペイドカード (prepaid card)	☆	33
プロセッサ (processor)	☆☆☆	33
ブロックチェーン (blockchain)	☆☆☆	34
プロパーカード (proper card)	☆☆☆	34
分散台帳技術	☆☆☆	34
ペイ (pay)	☆☆	34
ペイロールカード (payroll card)	☆☆☆	34
ポイントサービス (point service)	☆☆	35
法人カード	☆☆☆	35
ポストペイ (post-pay)	☆☆	35
本人確認	☆☆	35
ま行		35

マーケティング支援 ☆☆☆	35
マイレージ サービス (Mirage Service) ☆☆☆	35
前払い ☆	35
マルチ・アクワイアリング (multi-acquiring) ☆☆☆	36
ら行	36
ライアビリティ・シフト/債務責任の移行 (liability shift) ☆☆☆	36
リアルタイム口座振替 ☆☆☆	36
リボ払い/リボルビング払い ☆☆	36
流通系電子マネー ☆☆☆	36
レギュレーション (regulation) ☆☆☆	37
レコメンデーション (recommendation) ☆☆☆	37
A~Z	37
API (Application Programming Interface) 「エーピーアイ」 ☆☆	37
ATM (Automatic Teller Machine) 「エーティーエム」 ☆	37
BtoB (Business to Business) 「ビートゥービー」 ☆☆	37
BtoC/CtoB (Business to Consumer) 「ビートゥーシー」 ☆☆	37
BtoG/GtoB (Business to Government) 「ビートゥージー」 ☆☆	38
CAFIS 「キャフィス」 ☆☆☆	38
CARDNET 「カードネット」 ☆☆☆	38
CAT 端末 (Credit Authorization Terminal) 「キャットたんまつ」 ☆☆☆	38
CCT 端末 (Credit Center Terminal) 「シーシーティーたんまつ」 ☆☆☆	38
CMS (Cash Management System) 「シーエムエス」 ☆☆☆	38
CtoC (Consumer to Consumer) 「シートゥーシー」 ☆☆	39
CtoG/GtoC (Consumer to Government) 「ジートゥーシー」 ☆☆	39
CPM (Consumer presented Model) 「シーピーエム」 ☆☆	40
DLT (Distributed Ledger Technology) 「ディーエルティー」 ☆☆☆	40
EC サイト (EC:Electronic Commerce) 「イーシーサイト」 ☆☆	41
EDI (Electronic Data Interchange) 「イーディーアイ」 ☆☆☆	41
ETC カード (ETC:Electronic Toll Collection system) 「イーティーシーカード」 ☆☆	41
eWallet 「イーウォレット」 ☆☆☆	41
Felica 「フェリカ」 ☆☆	41
Fintech 「フィンテック」 ☆☆	41
IC カード (IC:Integrated Circuit) 「アイシーカード」 ☆	42
IRF (Interchange Reimbursement Fee) 「アイアールエフ」 ☆☆☆	42
J-Debit 「ジェイデビット」 ☆☆	43
J-Mups 「ジェイマップス」 ☆☆☆	43
KYC (Know Your Customer) 「ケーワイシー」 ☆☆☆	43

MDR (Marchant Discount Rate) 「エムディーアール」	☆☆☆	43
MPM (Marchant Presented Mode) 「エムピーエム」	☆☆	43
mPOS 「エムポス」	☆☆☆	43
NFC (Near Field Communication) 「エヌエフシー」	☆☆☆	44
P2P 送金 (Peer to Peer) 「ピートゥーピー、ピアトゥーピア」	☆☆	44
Pay-easy 「ペイジー」	☆☆	44
PCI DSS 「ピーシーアイディーエスエス」	☆☆☆	44
PDS (Personal Data Store) 「ピーディーエス」	☆☆☆	44
PFM (Personal Financial Management) 「ピーエフエム」	☆☆	44
POS システム 「ポスシステム」	☆☆	45
QR コード 「キューアールコード」	☆	45
RFID (Radio Frequency Identifier) 「アールエフアイディー」	☆☆☆	45
SME (Small Medium Enterprise) 「エスエムイー」	☆☆☆	45
SWIFT 「スイフト」	☆☆☆	45
UI/UX (User Interface/User Experience) 「ユーアイ/ユーエックス」	☆☆☆	45
Unbanked 「アンバンクド」	☆☆☆	45
XML 電文 「エックスエムエルでんぶん」	☆☆☆	45

## あ行

### アクセプタンス・マーク (acceptance mark) / 利用可能表示 ☆☆

お店で使えるキャッシュレス手段を表す、店頭にあるロゴマークのこと。

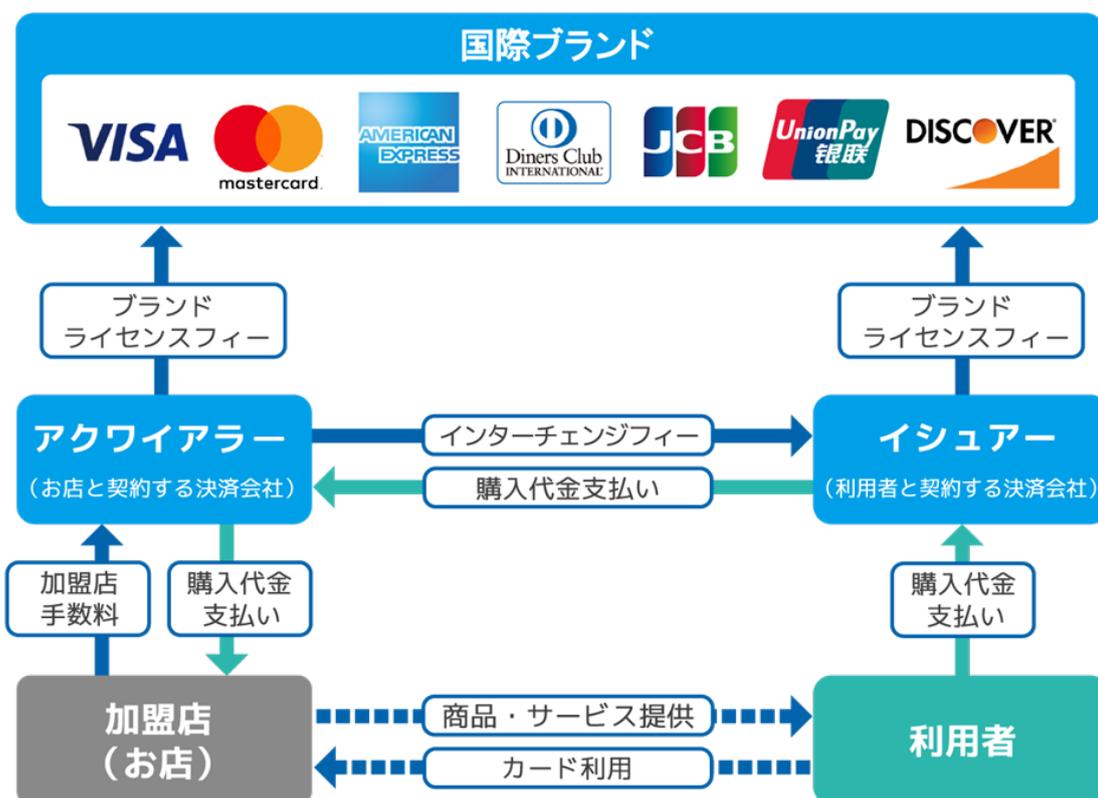
### アクワイアラー (acquirer) ☆☆

お店に対して、キャッシュレス手段の導入に向けた契約を行ったり管理したりする会社のこと。

【加えて】

その他、イシューアー（利用者と契約する決済会社）への購入代金請求、加盟店（お店）への代金支払いが主な業務である。

<クレジットカードでの支払いにおけるお金の流れ>



### 後払い ☆

商品やサービスを先に受け取り、後で代金を支払うこと。

【加えて】

クレジットカードでの支払いや、商品・サービスを受け取った後での請求書のコンビニ支払い、銀行振込などがこれにあたる。ポストペイともいう。他には前払いと即時払いがある。

<支払い方法の種類>

	前払い (プリペイド)	即時払い (リアルタイムペイ)	後払い (ポストペイ)
サービス例	電子マネー (交通系、流通系) プリペイドカード ギフトカード	デビットカード ( J-Debit、 ブランドデビット )	クレジットカード
	バーコード または QRコード		
支払方法	1回払い	1回払い	1回払い 分割払い ボーナス払い
限度額	入金額 ※入金上限額が設定されて いる場合もある	預金口座残高 ※1日の利用上限額が設定 されている場合もある	与信枠 ※収入、支払い実績など をもとに設定される
入会審査	原則なし	原則なし	あり

アプリ／アプリケーション (application)

☆

スマートフォンやタブレット端末にインストールして使える様々なソフトウェアのこと。

【加えて】

正式にはアプリケーションと呼ばれる。ゲームや SNS、音楽プレイヤー、決済アプリ、銀行アプリなど様々な種類のものがある。

イシューアー (issuer)

☆☆

利用者と契約し、キャッシュレス手段を発行・提供する会社のこと。

【加えて】

利用者の獲得や利用者への請求が主な業務である。※アクワイアラーのイラスト参照

一次元コード

☆☆

しま模様の線の太さによって数値や文字を表す符号のこと。バーコードともいう。

【加えて】

例えば、スーパーやコンビニの商品のパッケージにはバーコードがついており、レジにある機械で商品情報を読み取ることができる。読み取った情報は会計や在庫管理などに活用されている。

<コードの種類>

	バーコード(1次元)	QRコード (2次元)
表示例	<p>情報を持たない タテ方向</p> <p>情報を持つ ヨコ方向</p>	<p>情報を持つ タテ方向</p> <p>情報を持つ ヨコ方向</p>
データ容量	原則、理論的上限はないが、 一般に最大数十桁と言われる (リーダー側要件も影響)  JAN : 13桁 ITF : 14桁 (ITF-14) NW-7 : 原則制限なし CODE128 : 原則制限なし	数字のみ : 最大7,089文字 英数字 : 最大4,296文字 (US-ASCII) 漢字・かな : 最大1,817文字 (Shift JIS)  ※バージョン最大 : 40(177セル×177セル)の場合
主要用途	固有識別キー (ID、商品コード等)	URL搭載によるインターネット画面遷移 (デジタルクーポン、EC再度誘導等)
コード生成難易度	難易度低	難易度低
コード印刷領域	比較的大 (長方形状)	比較的小 (正方形状)
コード生成コスト	安価 (テスト生成は無償で生成可能)	安価 (テスト生成は無償で可能)
コード読み取り機器コスト	数千円～	数千円～数万円
コード読み取り速度	即時	即時

### インターチェンジ・フィー (interchange fee)

☆☆

クレジットカードでの決済があった際に、アクワイアラー (お店と契約する決済会社) がイシューアー (利用者と契約する決済会社) に支払う手数料のこと。

#### 【加えて】

アクワイアラーがお店 (加盟店) から徴収した加盟店手数料で支払われるため、最終的に加盟店が負担していることになる。

ビザやマスターカード、JCB 等の国際ブランドが定め、加盟店の業種によって手数料率が異なる。ビザにおいては IRF と呼ぶ。

※アクワイアラーのイラスト参照

インターネット・バンキング (internet banking) ☆☆☆

インターネット上で口座残高照会、振込等の銀行取引ができるサービスのこと。

【加えて】

銀行の窓口や ATM に行く必要がなく、パソコンやスマートフォンで取引ができるという利便性を持つ。三菱 UFJ 銀行では三菱 UFJ ダイレクト、三井住友銀行では SMBC ダイレクト、みずほ銀行ではみずほダイレクトという名前でインターネット・バンキングのサービスを提供している。

インバウンド (inbound) ☆☆☆

外国人が訪れる旅行のこと。

【加えて】

観光の観点からは、訪日外国人旅行者を指して用いられる。国際的に利用者の多い、クレジットカード・デビットカードの国際ブランド対応はインバウンド対応の 1 つとなる。2014 年頃に中国人旅行者による「爆買い」現象が注目されて以来、インバウンドという言葉が急速に普及した。中国人の需要を取り込むために Alipay (アリペイ)、WeChatPay (ウィーチャットペイ)、銀聯 (ぎんれん) などの中国系のキャッシュレス手段を整備するお店が増えた。反対に、日本人が外国へ出かける旅行をアウトバウンドという。

ウェアラブル・デバイス (wearable device) ☆☆☆

身につけることができる小型の機器・端末のこと。

【加えて】

時計、眼鏡、ブレスレットなど様々なタイプの製品が販売されている。インターネット通信や位置情報の取得、センサーによる測定などができるため、スポーツ、健康、エンターテインメントなどの分野で活用されている。

ウォレット (wallet) ☆☆☆

電子マネーなどを管理するお財布の役割を果たすもののこと。

【加えて】

本来、英語では「財布」の意味だが、デジタルウォレットや電子財布を指すことが多い。電子的なお金を所有、保管、使用するためのもので、スマートフォンやパソコン上に作ることができる。

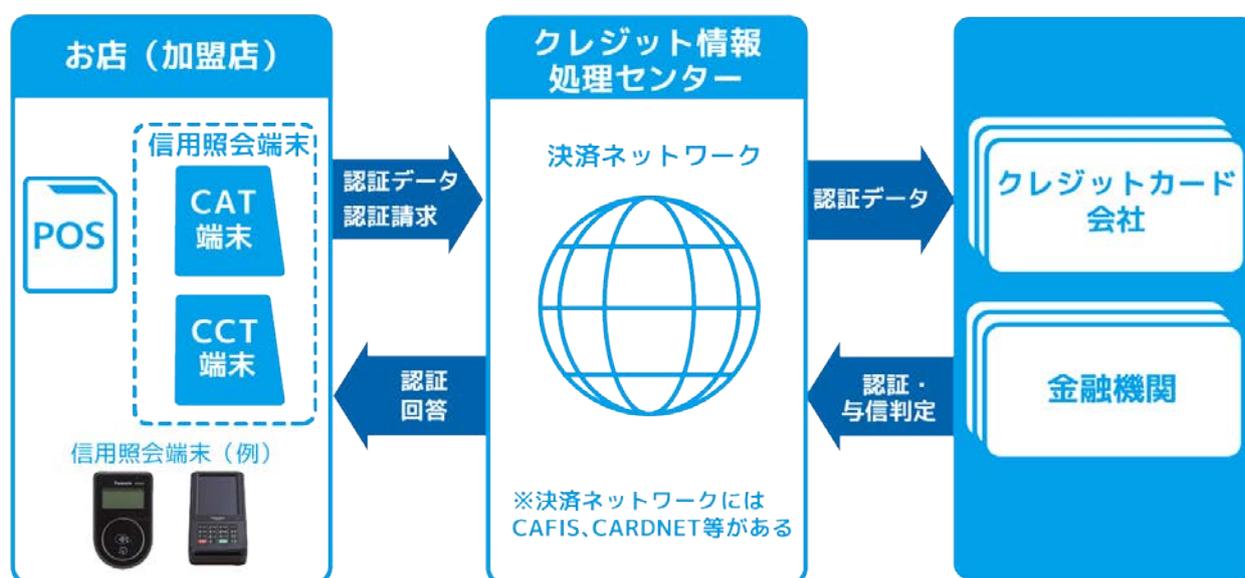
オーソリゼーション (authorization) ☆☆☆

消費者がクレジットカードで支払う際に、お店が利用可否を確認すること。

【加えて】

お店が専用の端末に通して消費者が使用するクレジットカードの利用可否についてクレジットカード会社に確認する。オーソリゼーション (authorization) には「権限を与えること」「許可」の意味がある。

<オーソリゼーションの流れ>



## おサイフケータイ

☆☆☆

携帯電話やスマートフォンを、読み取り機にタッチして支払いが出来るサービスのこと。

### 【加えて】

Felica（フェリカ）を利用した日本独自のサービス。支払いのほか、残高の確認をしたりポイントを貯めたりすることができる。システム開発を行った NTT ドコモの登録商標だが、KDDI やソフトバンク等の携帯電話でもおサイフケータイのサービスが使える。

## オフアス取引 (off-us)

☆☆☆

カードでの支払いにおいて、イシューアー（利用者と契約する決済会社）とアクワイアラー（お店と契約する決済会社）が異なる会社である場合の取引のこと。

### 【加えて】

決済代行業者がアクワイアラーとお店（加盟店）の間に入る場合もある。ノットオンアス取引、ノンオンアス取引ともいう。

## オフライン決済

☆☆☆

電子決済を利用したときに、その場で決済会社との通信が行われず、数時間後や数日後に反映されること。

### 【加えて】

ETC ゲートを通るときの決済が代表的で、設備投資が少なく済むため通信コスト等を削減することができるが、支払い時に利用残高の確認ができない。

## オンアス取引 (on-us)

☆☆☆

カードでの支払いにおいて、イシューアー（利用者と契約する決済会社）とアクワイアラー（お店と契約する決済会社）が同じ会社である場合の取引のこと。

## オンライン決済

☆☆

電子決済を利用したときに、その場で決済会社との通信が行われること。

### 【加えて】

クレジットカードでは提示した時点で利用限度額に達している場合は利用できず、デビットカードでは登録してある口座残高が不足している場合は利用できない仕組みになっている。

## か行

### カード決済

☆☆

クレジットカードやデビットカードなどのカードを使って支払いをすること。

### 【加えて】

支払う際のカード読み取り方法は、カード読み取り機にスライドさせる方式（磁気カード）、カードを差し込む方式（接触型 IC カード）、カードをタッチしたりかざしたりするタッチ式（非接触型 IC カード）がある。

### 割賦販売法

☆☆☆

主に分割払いをする際のルールを定めた、経済産業省が所管する法律のこと。

### 【加えて】

クレジットカードの利用明細書の記載項目、不正利用時に利用者が支払いを停止できる権利などを定めている。

### ガバメントカード

☆☆☆

行政や自治体に所属する職員などに対して、発行されるクレジットカードのこと。

### 【加えて】

カードの名義は、行政・自治体に所属する個人となり、引落銀行口座は、行政・自治体名義の口座になる。出張に係る費用などの行政・自治体でかかる経費をガバメントカードで支払うと、立替金の清算が無くなり、経理に関する業務の負担が軽くなるというメリットがある。

### 加盟店

☆☆

キャッシュレス手段で支払えるお店や企業のこと。

### 【加えて】

決済会社と契約して、そのサービスに対応していることを加盟と呼んでいる。どのキャッシュレス手段が使えるのかが消費者に分かるように、店頭にステッカー等（アクセプタンスマーク）を貼って示している。

### 加盟店審査

☆☆

お店でキャッシュレス手段を導入する際に、決済サービス会社の審査を受けること。

### 【加えて】

お店の業種・提供サービス内容・店舗の立地・取扱商品などの情報を決済サービス会社に提供し、審査を通過したお店は、加盟店として契約を結ぶことになる。

## 加盟店手数料

☆☆

消費者がキャッシュレス手段で支払いをした際に、お店(加盟店)が決済サービス会社に支払う手数料のこと。

### 【加えて】

クレジットカード決済では、加盟店がアクワイアラー(お店と契約する決済会社)に支払う手数料のことを指す。ビザ・マスターカードではMDR(Merchant Discount Rate)、JCBでは加盟店割引料という。

※アクワイアラーのイラスト参照

## 加盟店割引料

☆☆☆

消費者がキャッシュレス手段で支払いをした際に、お店(加盟店)が決済サービス会社に支払う手数料のこと。

### 【加えて】

クレジットカード決済では、加盟店がアクワイアラー(お店と契約する決済会社)に支払う手数料のことを指し、JCBにおける呼び方である。一般的には加盟店手数料であり、ビザ・マスターカードではMDR(Merchant Discount Rate)という。

## かわせ 為替

☆☆☆

現金の代わりに手形、小切手、銀行振込などでお金の受渡しを済ませる方法。

### 【加えて】

「交わす(かわす)」、「遣わす(つかわす)」が語源。遠隔地への送金方法として、現金を直接送付する場合のリスクを避けるために用いられる。

## ギフトカード (gift card)

☆☆☆

様々なお店やネットショッピングで定められた金額分を利用できる券やカードのこと。

### 【加えて】

元々は贈り物用のカードであり、百貨店や各地域の商店街などで発行される商品券や、コンビニ等で販売されているネットショッピング専用のカードなどがこれにあたる。

## キャッシュ・アウト (cash out)

☆☆☆

お店でのお買い物のときに、デビットカードを利用してお店のレジから現金を引き出せるサービスのこと。

### 【加えて】

ATMを使わずにお金をおろすことができるため、ATMに行く手間が減らせるという消費者側のメリットがある。J-Debitなどで提供されている。

## キャッシュカード (cash card)

☆☆

銀行などで口座開設をしたときに発行されるATM等で使用できるカードのこと。

### 【加えて】

ATMに入れて、暗証番号を入力することで、口座へのお金の入出金(預入・引き出し)、残高の確認(残高照会)、別口座への送金(振替/振込)などができる。

## キャッシュレス決済／キャッシュレス (cashless) ☆

お札や小銭などの現金を使用せずにお金を払うこと。

### 【加えて】

クレジットカード、電子マネー、デビットカード、スマートフォンやインターネットを使った支払いなどがこれにあたる。なお、キャッシュ(cash)とは、「現金」を意味する。接尾辞のレス(less)は「ない」を意味する。現金ではなく、主に、デジタル化されたデータでお金のやり取りを行う。

## キャッシュレス決済比率 ☆☆

全ての支払い金額のうち、キャッシュレス決済で支払われた金額の割合のこと。

### 【加えて】

2017年6月に閣議決定された「未来投資戦略2017」において、2027年までにキャッシュレス決済比率を4割程度とする目標が初めて示された。

2018年4月に経済産業省が策定した「キャッシュレス・ビジョン」では、内閣府が公表している民間最終消費支出に占めるクレジットカード・デビットカード・電子マネーでの支払額の比率で算出している。また、各国比較では、キャッシュレス支払い手段による年間支払い金額には、国際決済銀行(BIS)が公表している年次報告書の電子マネー決済額及びカード決済額の和を分子とし、これを世界銀行が公表している国の家計最終消費支出で割って算出した比率をキャッシュレス決済比率とした。

「キャッシュレス・ビジョン」では、キャッシュレス決済比率40%の目標時期を2027年から大阪・関西万博が開催される2025年に前倒しし、さらに将来的には世界最高水準の80%を目指すことが示された。

## キャッシュレス社会 ☆☆

現金以外のデジタルな手段で支払いが行われ、消費者にとって利便性が向上するとともに、生み出されたデータを利活用することで国全体の生産性の向上や業務効率の改善がなされ、さらに、新しいサービスが生まれ、消費者・お店、決済サービス会社それぞれが、キャッシュレス決済に価値を見出すことができる社会のこと。

## キャッシュレス決済手段／キャッシュレス・ツール ☆☆

クレジットカードや電子マネー、デビットカードなどの現金を代替する決済手段等を総称した呼び名のこと。

## キャッシュレス推進協議会 ☆☆

「キャッシュレス・ビジョン」の提言等を踏まえ、2018年7月に一般社団法人として設立された。日本のキャッシュレス推進活動の推進役として、様々な業界が横断的に、行政や学識者とも連携しながらそれぞれ対等な立場で意見交換を行い、社会全体として一体となってキャッシュレス社会実現に向けた活動をする組織。

## キャッシュレス・ビジョン ☆☆

2018年4月に経済産業省が策定した、日本におけるキャッシュレス社会を実現するためにまとめた指針のこと。

### 【加えて】

キャッシュレス決済を促進するため、消費者・お店の課題を解消する取組の方向性及び方策を提言している。2025年までにキャッシュレス決済比率を40%にし、将来的には世界最高水準の80%とする目標を定めている。

## キャリア決済

☆☆

携帯電話使用料金と一緒に、商品やサービスの代金を支払う方法のこと。

### 【加えて】

この場合のキャリアとは電気通信事業者を指し、NTTdocomo（ドコモ払い）、au（auかんたん決済）、Softbank（ソフトバンクまとめて支払い）がある。

## 共通ポイント

☆☆☆

お店独自のポイントとは異なり、コンビニやスーパー、ガソリンスタンド、飲食店など、様々な業態を超えて貯めたり利用したりできるポイントのこと。

### 【加えて】

Tポイント（ティーポイント）、楽天スーパーポイント、Ponta（ポインタ）などがこれにあたる。なお、お店独自のポイントを「企業ポイント」ともいう。

## 銀行 API「ギンコウエーピーアイ」

☆☆☆

銀行のサービスやデータを他のサービスと組み合わせて利用するための仕組みのこと。

### 【加えて】

銀行が提供する API を指す。口座の残高の確認、お金の出し入れの情報、振込の機能を他のサービスと連携することで、より便利で革新的なサービスが作り出されることを期待されている。API でアプリケーションとアプリケーションを仲立ちするのでデータを連携できるようになる。

## 銀行法

☆☆☆

銀行業を営むためのルールを決めた日本の法律のこと。

### 【加えて】

銀行は免許制で、預金・融資・為替を主な業行為としており、銀行とその子会社の業務範囲を規定している。2005年10月に改正され、2006年から銀行代理店業務を銀行でない一般の会社が行うことが可能になった。

## 金融データ

☆☆☆

金融の取引にかかる残高、利率、契約件数、取引件数等のデータのこと。

## クーポン (coupon)

☆☆☆

お店や会社が消費者に対して提供する、割引などの特典のこと。

### 【加えて】

広告用のチラシや冊子に付いている割引券や、Web ページやスマートフォン経由で入手・利用できるものがある。

## クラウド会計

☆☆☆

インターネットを介して、会計処理を行うことができるシステムのこと。

### 【加えて】

常に最新の会計ソフトを利用できるため、法改正等によるルール変更にも柔軟に対応できる。free（フリー）

やマネーフォワードクラウド会計などのサービスがこれにあたる。なお、クラウド (cloud) とはインターネット上で何らかの機能を提供するサービス全般の概念である。

### クラウド POS 「クラウドポス」

☆☆☆

スマートフォンやタブレットからアプリなどのインターネットを介して利用できる POS システム (お店における売上情報を管理するシステム) のこと。

#### 【加えて】

お店にサーバを用意する必要がなく、売上情報はクラウド上で一元管理される。複数の拠点でシステムを利用する場合など、常に最新情報を確認することができる。なお、クラウド (cloud) とはインターネット上で何らかの機能を提供するサービス全般の概念である。

### クリアリング (clearing)

☆☆☆

振込など銀行に支払い手続をした後に、各銀行が最終的に受け取る・あるいは支払う金額を集計すること。

#### 【加えて】

銀行は毎日膨大な件数の振込の処理をする必要があるため、効率的に処理を行うために全銀システムでまとめて確認し集計などの作業を行う。その結果、最終的な処理をしてセトルメント (清算処理) がなされる。

### クレジットカード (credit card)

☆

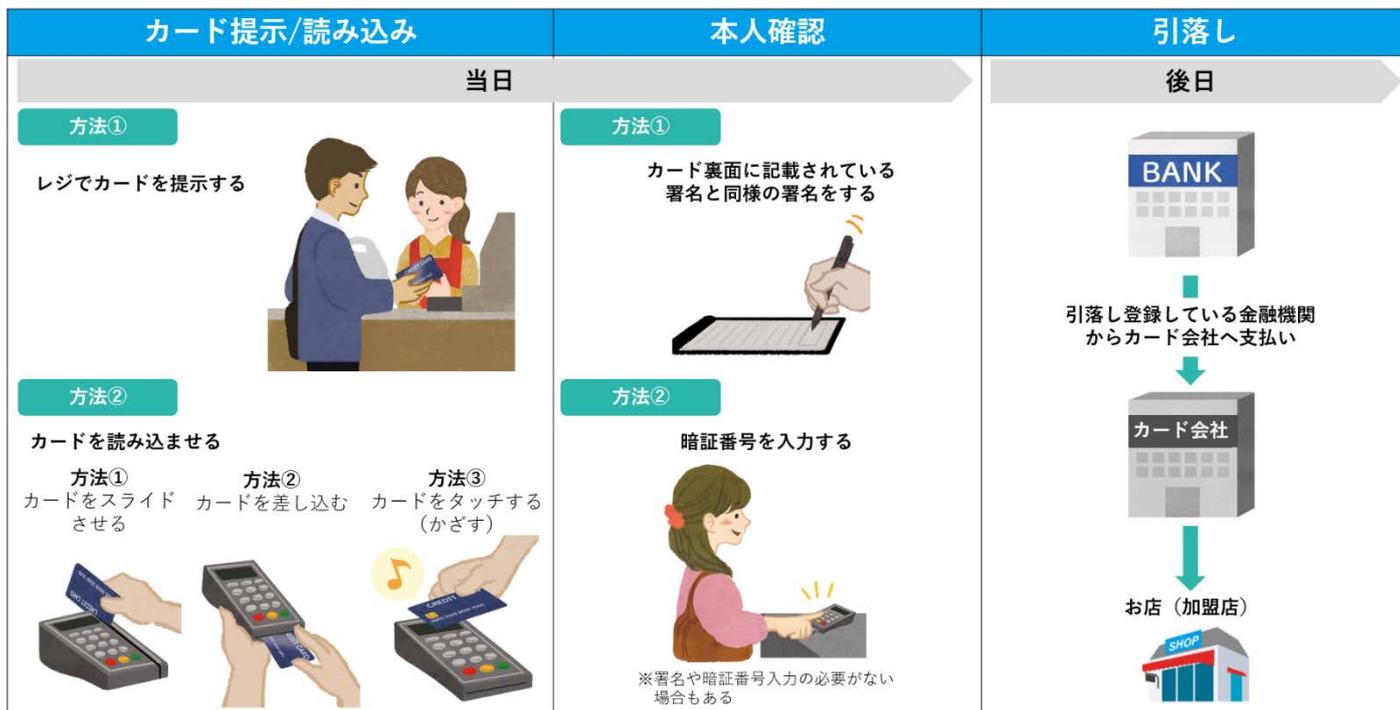
お店などでの支払い時に使用すると、その場で現金を支払うことなく商品やサービスを受け取ることができ、後で代金の請求が来る (後払い) カードのこと。

#### 【加えて】

代金は一括で支払うか、分割払いやボーナス払い、リボ払いなどがある。信用販売のため、カード発行の際の入会審査によって一ヶ月の利用限度額が人それぞれで定められており、利用者はその範囲で支払いができる。売上金の入金については、アクワイアラー (お店と契約する決済会社) からお店に支払われる。

※入金タイミングは、クレジットカード会社によって異なる。

<主なクレジットカードでの支払いの流れ>



クレジットカード API「クレジットカードエーピーアイ」

☆☆☆

クレジットカードのデータを他のサービスと組み合わせて利用するための仕組みのこと。

【加えて】

クレジットカード会社が提供する API を指す。

クレジットカードの利用明細、利用限度額を連携することで、個人の家計簿アプリでまとめて支出が見られたり、会社における会計処理が効率化できたりする。API でアプリケーションとアプリケーションを仲立ちするのでデータを連携できるようになる。

クロスボーダー (cross border)

☆☆☆

国境を超えること。

【加えて】

- ・クロスボーダーBtoB：国境を超えた会社同士での取引。
- ・クロスボーダーBtoC：消費者が国境を越えて商品やサービスを購入する際の取引。
- ・クロスボーダーCtoC：国境を超えた消費者間での取引。

決済

☆☆☆

商品やサービスに対して、お金などの対価を支払うこと。

【加えて】

現金のほかにも、クレジットカード、電子マネー、デビットカード、銀行を介した振込などによる決済がある。

## 決済端末

☆☆

キャッシュレス手段で支払う時に、読み取る機械のこと。

### 【加えて】

磁気カードをスライドさせる、接触型 IC カードを差し込む、非接触型 IC カードやスマートフォンをタッチしたりかざしたりする、バーコードや QR コードを読み取るなど、端末の種類は様々である。

複数のキャッシュレス手段での支払いに対応している、マルチ決済端末もある。

## 決済代行サービス

☆☆

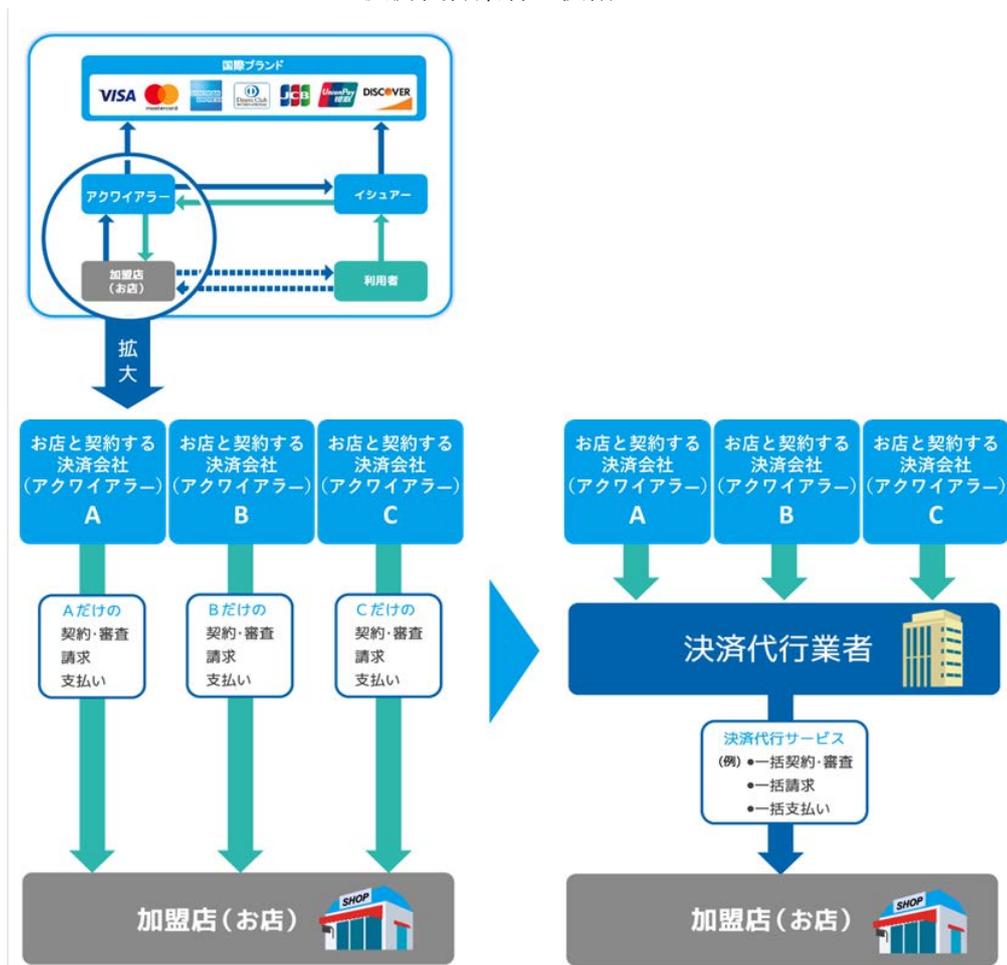
加盟店とクレジットカード会社や決済サービス会社の間に入り、複数のクレジットカード会社や決済サービス会社との契約や精算を代行するサービスのこと。

## 決済代行業者

☆☆

決済代行サービスを提供する会社のこと。

<決済代行業者の役割>



## 決済手数料

☆☆☆

キャッシュレス手段による支払い1回ごとにお店や決済会社にかかる手数料のこと。

### 【加えて】

例えばクレジットカードで支払いをした場合、お店（加盟店）がアクワイアラー（お店と契約する決済会社）に支払う加盟店手数料、アクワイアラーがイシューア（利用者と契約する決済会社）に支払うインターチェンジ・フィー、アクワイアラーやイシューアが国際ブランドに支払うブランド・ライセンスフィーなどがある。

## 決済データ

☆☆

購買に関する情報で、誰が（顧客ID）、いつ（日時）、どこで（加盟店）、いくら（購買金額）購入したかが分かる情報のこと。

### 【加えて】

お店のPOSシステムの情報と組み合わせることによって、商品・サービスの種類が分かる場合もある。

## 現金決済

☆

お札や小銭で支払いをすること。

## 口座振替／口振

☆☆

銀行口座から、料金を自動的に引き落としするサービスのこと。

### 【加えて】

口座振替は、自動引き落とし、口座自動振替、自振とも呼ばれることもある。定期的に支払う公共料金や携帯電話料金を自動引き落としにして、払い忘れを防止することもできる。クレジットカードの支払いも口座振替が一般的で、あらかじめ銀行口座を設定しておく、自動で引き落とされる。

## 交通系電子マネー

☆☆☆

鉄道会社などが発行する主に乗車券として使える電子マネーのこと。

### 【加えて】

Suica（スイカ）、PASMO（パスモ）が代表的で、全国各地の鉄道会社が発行している。電車に乗る時だけでなく、バスやタクシー、船でも使えるところがある。そのほか自動販売機やコンビニなど、お店でのお買い物にも使える場所が増えてきている。

## コード決済／バーコード決済／QRコード決済

☆

バーコードやQRコードを使って支払いすること。

### 【加えて】

消費者がスマートフォンにコードを表示させる方式のCPM（Consumer Presented Model：消費者提示型）と、お店がコードを表示する方式のMPM（Merchant presented Mode：店舗提示型）の2種類がある。

<主なコード決済での支払いの流れ>

事前準備	支払い
<p>スマートフォンに専用のアプリをインストール</p> <p>銀行口座やクレジットカードをアプリに登録</p>  <p>※金融機関ごとに登録の際に必要な情報が異なります。</p>	<div style="background-color: #D9E1F2; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>MPM（お店が表示する方法）</b></p> <p>お店に表示されているQRコードをアプリで読み取り金額を入力する</p> <p>支払い完了画面を店員に提示する</p>  </div> <div style="background-color: #D9E1F2; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>CPM（消費者が提示する方法）</b></p> </div> <div style="background-color: #00A68A; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>方法①</b></p> <p>店員にバーコードやQRコードが表示された画面を提示し読み取ってもらい支払い完了</p>  </div> <div style="background-color: #00A68A; color: white; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>方法②</b></p> <p>QRコード読み取り機にスマートフォンの画面をかざして支払い完了</p>  </div>

コーポレートカード／ビジネスカード／法人カード

☆☆☆

法人・団体やその所属員などに対して、発行されるクレジットカードの一種のこと。

【加えて】

カードの名義は法人に所属する個人となり、引落とし銀行口座は法人名義の口座になる。会社の経費をコーポレートカードで支払うと、立替金の清算が無くなり、経理に関する業務の負担が軽くなるというメリットがある。なお、従業員 20 名以上の大手企業向けに発行されるものをコーポレートカード、従業員 20 名未満の中小企業向けに発行されるものをビジネスカード、総称して法人カードと呼び分ける例がある。

<法人・団体・行政を対象としたクレジットカードの種類>

<b>法人カード</b>		<b>ガバメントカード</b>
<b>ビジネスカード</b>	<b>コーポレートカード</b>	

国際ブランド

☆☆

世界各地に数多くの加盟店を持ち、国際的に通用するクレジットカードブランドのこと。

【加えて】

一般的には、VISA（ビザ）、MasterCard（マスターカード）、American Express（アメリカン・エクスプレス）、DinersClub（ダイナースクラブ）、JCB（ジェーシービー）、Discover Card（ディスカバーカード）と銀聯（ぎんれん）の7つを指す。（2019年2月時点）※アクワイアラーのイラスト参照

## 国際ブランド決済ネットワーク

☆☆☆

クレジットカード決済などの統合ネットワークシステムの一つのこと。

### 【加えて】

全国の加盟店（お店・企業）とクレジットカード会社や金融機関をつなぎ、取引や決済を処理している。各国国際ブランドが運営しており、ビザは VisaNet（ビザネット）、マスターカードは BANKNET（バンクネット）という決済ネットワークを運営している。

## 個人間送金

☆

個人と個人の間でのお金のやり取りのこと。

### 【加えて】

仕送りや飲み会代の幹事への支払い、主に消費者の間の売買で発生する支払いなどがこれにあたる。CtoC の支払い、P2P（Peer to Peer）送金ともいう。銀行のほか、100 万円以下であれば、登録を受けた資金移動業者も取扱い可能。（2019 年 2 月時点）

## さ行

### サインレス（signless）

☆☆

クレジットカードで支払う時に、本人確認のサインを行わないこと。

### 【加えて】

スーパー、ショッピングセンター、コンビニ等、手軽な支払い処理が求められる場所で利用されることが多い。

### シェアリング エコノミー（sharing economy）

☆☆☆

インターネットを介して、個人と個人の間で使っていないモノ・場所・技能などを貸し借りするサービスのこと。

### 【加えて】

車を共有して利用する「カーシェアリングサービス」が 1 つの例である。消費者の価値観が所有するよりも、利用・体験する方向に変化していることが背景の 1 つに挙げられる。

## 磁気カード

☆☆☆

磁気によって情報を記録するカードのこと。

### 【加えて】

カードの裏面に磁器の黒いラインがついている磁気ストライプカードと、カードの表面全体が磁気でおおわれている薄手の全面磁気カードの 2 種類がある。磁気ストライプカードはクレジットカードやキャッシュカードに使われているが、より安全性の高い IC カードが主流になりつつある。全面磁気カードはポイントカードなどに使われており、磁気ストライプカードよりも薄いのが特徴である。

## 資金移動業

☆☆☆

100 万円相当以下のお金の送金や決済などを業務として営むこと。

### 【加えて】

インターネットの普及により安価で便利な送金サービスのニーズが高まっていることから創設された。資金移動業を行うには、資金決済法に基づき事前に内閣総理大臣の登録を受ける必要がある。

## 資金決済法

☆☆☆

「資金決済に関する法律」の略称。

### 【加えて】

(1) 商品券やプリペイドカードなどの前払式支払手段の制度整備、(2) 金融機関以外の会社による資金移動業の規定、(3) 銀行間の資金決済の強化・免許制、(4) 仮想通貨交換業等について定められている。

## 実証実験

☆☆☆

新しく開発した製品やサービスについて、実際に使用して実用化の問題がないかを確認すること。

## 仕向

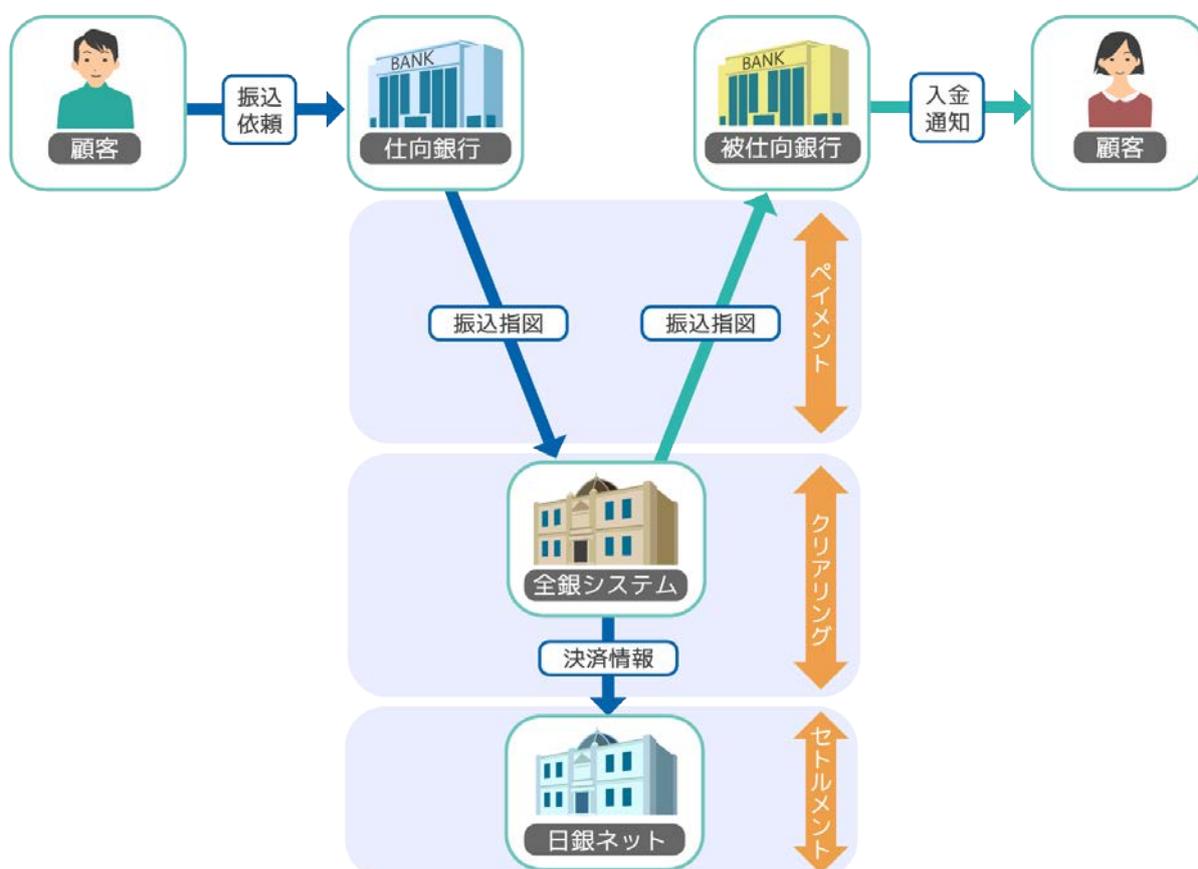
☆☆☆

お金の振込において送る側の金融機関のこと。

### 【加えて】

反対に、受け取る側の金融機関を被仕向という。

<振込の仕組み>



## 収納代行

☆☆☆

例えば、コンビニで公共料金や通信販売の支払いができるサービスのこと。

## 情報銀行

☆☆☆

消費者に関する情報を、本人の合意のもとで収集、管理し、会社などの第三者に対して提供する機関のこと。

### 【加えて】

収集・提供される情報には、個人のプロフィール、連絡先、購入履歴、位置情報などが含まれる。一般的には属性情報としての活用が考えられる。

## シングル・アクワイアリング (single-acquiring)

☆☆☆

加盟店（お店）との契約を1つのカード会社が代表して行うこと。

### 【加えて】

関連用語：マルチ・アクワイアリング

## 信用照会端末

☆☆☆

クレジットカードが利用できるお店で、消費者の提示したクレジットカードが利用できるものかどうかを確認するための機器のこと。

### 【加えて】

CAT 端末と CCT 端末の2種類がある。端末から、お店とクレジットカード会社をつなぐネットワークを介して問い合わせを行う。

## 信用販売／販売信用

☆☆☆

商品やサービスを後払いで販売すること。

### 【加えて】

クレジットカード会社が、利用者に対して入会審査を行い、後で支払うことができるという信用を与えることで成り立つシステムである。

## スキャナ保存

☆☆☆

税務上の書類について会社や個人事業主が書類を電子的に保存しておく電子帳簿保存法で認められている保存方法のこと。

### 【加えて】

会社や個人事業主が、取引で発生する契約書や領収書などの紙の書類を、スキャンし電子化して保存しておけば、紙の書類による保存は不要とされている。

## スマート化

☆☆☆

情報通信技術を使って機器などの高度な管理や制御を行うこと。

### 【加えて】

高度な情報処理能力を備えていない道具類にその機能を付与することを指す場合もある。

## スマート・コントラクト (smart contract) ☆☆☆

予め決められたある条件を満たした時に契約が発生するなど、様々な契約を自動的に行うことができる仕組みのこと。

### 【加えて】

管理者や第三者を介さずに、不正が起きにくい仕組みをブロックチェーン技術を使って実現したもの。不動産の取引や、名義変更、商品の売買におけるお金の支払いなどで活用が期待されている。

## スマートフォン決済 (スマホ決済) ☆

スマートフォンを使って支払いをすること。

### 【加えて】

NFC (非接触 I C) がついているスマートフォンで読み取り機にタッチやかざす方式 (タッチ式) や、QR コードやバーコードを使う方式がある。

## スマホ・デビット ☆☆☆

スマートフォンを使って銀行口座から支払い・受取ができるサービスのこと。

### 【加えて】

スマホデビットサービス (仮称) は、誰でも、どこでも、安心して使える支払い方法の提供の実現を目指しており、銀行業界全体で利用者獲得・加盟店開拓を推進している。(2019 年 2 月時点)

## 生体認証 ☆☆

指紋や、顔、目 (虹彩) など身体の一部を用いて認証を行うこと。

### 【加えて】

個人で異なる生体情報を使うため、なりすましが難しく安全性が高いと言われている。

## 静的 QR コード ☆☆

印刷物のように表示が変わらない QR コードの方式のこと。

### 【加えて】

決済端末などの設備がない店舗でも、印刷した QR コードを店頭に置くだけで、コード決済の導入が可能となる。支払いのたびに電子的に作成される QR コードのことを動的 QR コードという。

## 接触型 IC カード ☆☆

差し込み用の集積回路が入ったカードのこと。

### 【加えて】

カード読み取り機に差し込み、直接接触させて読み取る。

クレジットカードが代表的。磁気を使ったカードに比べて、カードに記録されたデータの安全性が高く偽造や変造がしにくい。※IC カードのイラスト参照

## セトルメント (settlement) ☆☆☆

支払いや振込手続きなどをした後に、実際にお金移動して支払いが完了すること。

【加えて】

最終的な清算を意味している。実際にお金が移動するセトルメントの前に、銀行間での事前準備や確認・集計（クリアリング）が行われることもある。セトルメント（settlement）は清算とも訳される。※仕向のイラスト参照

セルフ・コントロール

☆☆

クレジットカードなどを利用するときに、自分で利用限度額や利用できるお店の範囲を設定・変更できる機能のこと。

【加えて】

利用者は、クレジットカードなどでの使いすぎを防止できるようになる。

全銀システム

☆☆☆

銀行間の取引を仲介し、決済を行うための全国銀行協会が提供しているシステムのこと。

【加えて】

全国銀行データ通信システムの略である。日本のほとんどすべての金融機関の取引を網羅している。

即時払い

☆

支払いの際に、消費者が保有しているお金又は銀行口座の残高からすぐに支払われること。

【加えて】

現金支払いや、デビットカードでの支払いがこれにあたる。デビットカードでは銀行口座から即時に引き落とされて支払われる。他には前払いと後払いがある。※後払いのイラスト参照

た行

タッチ式

☆

読み取り機にカードやスマートフォンをタッチしたりかざしたりする方式のこと。

【加えて】

「かざす」場合も指す。電子マネーや社員証が代表的で、クレジットカードやデビットカードでも、タッチして読み取る方式がある。なお、「タッチ（触れる）」と「かざす」のどちらでも動作することが多い。

チャージ／入金（charge）

☆

電子マネーに入金を行い、残高を増やすこと。

【加えて】

券売機やチャージ専用機にて現金を入金する方法や、スマホアプリのなかでクレジットカードや銀行口座から入金する方法がある。

残高が一定の金額未満になると、あらかじめ登録していたクレジットカードから自動で一定金額分が入金されるオートチャージという機能もある。

チャージ・バック（charge back）

☆☆☆

クレジットカードの第三者による不正利用などが判明した際に、利用者に対しイシューア（利用者と契約する

決済会社) から請求された取引に関し、その請求が取り消されたり、返金されたりすること。

【加えて】

クレジットカード利用者を不正利用から保護するための仕組みの1つである。イシューアは利用者に請求できないため、アクワイアラー（お店と契約する決済会社）に代金請求を行う。

## 提携カード

☆☆☆

クレジットカード発行会社がその他の企業と提携して発行するクレジットカードのこと。

【加えて】

提携先はショッピングセンターや航空会社など様々でカードの種類も多い。提携先のお店での優待や割引が受けられる。

## デジタル通貨／デジタルコイン

☆☆

電気信号を使って（電子的な情報、デジタルデータとして）記録し利用できるお金のこと。

【加えて】

日本銀行のような中央銀行が発行する場合を特にデジタル通貨と呼ぶ場合もある。一般的な銀行が独自発行する場合は、デジタルコインと呼ぶ場合もある。特に分けずに、広くキャッシュレスにおける通貨をデジタル通貨と呼ぶ場合もある。

## デジタル・プラットフォーマー (digital platformer)

☆☆☆

インターネットやデータを活用して、サービスを提供する、あるいは利用する様々な会社や人をつなぐ「場（プラットフォーム）」を提供する事業者のこと。

【加えて】

オンラインショッピングモール、オンラインフリーマーケット、コンテンツ配信サービス、ソーシャルネットワークワーキングサービスなどの例がある。

GAF(A(ガーファ、Google：グーグル、Amazon：アマゾン、Facebook：フェイスブック、Apple：アップルの頭文字をとって称されたもの) が代表的なデジタル・プラットフォーマーとされている。

## デビットカード (debit card)

☆

お買い物や食事代の支払いで使うと、代金が銀行口座から即時に引き落とされるカードやその支払い方式のこと。

【加えて】

日本の銀行などの金融機関が提供する J-Debit (ジェイデビット) と、クレジットカードの国際ブランドが提供するブランド・デビットがある。

<主なデビットカードでの支払いの流れ>



デポジット (deposit) ☆☆

一般的に、サービスを利用する際に最初に支払う「預り金」のこと。

【加えて】

主な交通系電子マネーは IC カード発行の際に、預かり金を払う場合がある。預り金なので、カードなどを返すことで返金される。

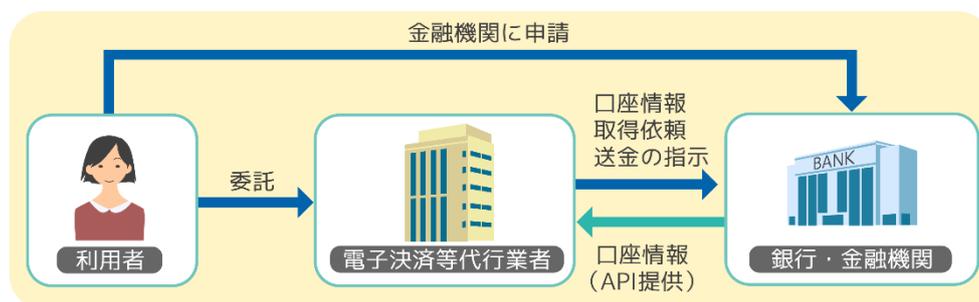
電子決済等代行業 ☆☆☆

アプリによる個人間送金サービスや、家計簿アプリ、企業向け会計サービスなどを提供する会社のこと。

【加えて】

主に送金を事業目的としている「決済指図伝達事業者(けっさいさしずでんたつじぎょうしゃ)」と、口座管理を事業目的としている「口座情報利用事業者(こうざじょうほうりようじぎょうしゃ)」の2つに分けられる。

<電子決済代行業の役割>



	決済指図伝達事業者	口座情報利用事業者
事業の主目的	送金 銀行に口座を持つ利用者から委託を受けて、その口座にあるお金を移動するように銀行に伝える	口座管理 銀行に口座を持つ利用者から委託を受けて、利用者に口座に関する情報を提供する

電子商取引

☆☆☆

インターネットなどの通信を使って、商品の売買やサービスの取引を行うこと。

【加えて】

EC サイトでの買い物が典型例。

電子タグ

☆☆☆

電波を利用して非接触で個体を識別するツールのこと。

【加えて】

日本でもアパレル業界を中心に導入されており、商品に付けて商品管理を行っている。一度に複数の情報を読み取ることができるため、1つ1つかざす必要がなく、管理業務を効率化することができる。RFID（アールエフアイディー）とも呼ばれる。

電子帳簿保存法

☆☆☆

税務上の書類について会社や個人事業主が書類を電子的に保存しておくことを定めた法律のこと。

【加えて】

以前は紙での保存が原則だったが、2005年に改正されスキャンによる電子保存（スキャン保存）が認められるようになった。

電子マネー

☆

様々な会社が独自に発行している支払いサービスで、主にカードの中に電気信号にしたお金の情報を持たせたもの。

【加えて】

例えば、JR 東日本の発行する Suica（スイカ）、セブン&アイ・ホールディングスのグループ会社が発行する

nanaco（ナナコ）、イオングループが発行する WAON（ワオン）等がある。

タッチして使える IC カードやスマートフォン、携帯電話の方式がある。支払い方式は、前払い式が多い。

<主な IC カード型電子マネー(プリペイド)での支払いの流れ>

事前準備	チャージ	支払い
<p><b>方法①</b></p> <p>自動券売機等でカードを発行</p>  <p><b>方法②</b></p> <p>店頭にてカードを発行</p> 	<p><b>方法①</b></p> <p>自動券売機等で入金</p>  <p><b>方法②</b></p> <p>専用チャージ機で入金</p>  <p><b>方法③</b></p> <p>自動券売機等で入金</p> <p>1000円チャージしてください</p> 	<p>対象のカード読み取り機にカードをタッチしてお支払い</p> 

## 電子レシート

☆☆

電子データ化された標準仕様の買い物レシートのこと。

### 【加えて】

スマートフォンのアプリなどから確認することができる。経済産業省では 2017 年 3 月から買い物レシートの電子化を通じたデータ利活用に関する実験を行い、標準電子レシートを策定した。

## 動的 QR コード

☆☆

支払いのたびに電子的に作成される QR コードの方式のこと。

### 【加えて】

消費者のスマホ画面や店舗のタブレットに表示した QR コードを読み取る際に使われる。決済のたびに QR コードが電子的に作成されるため、偽造されにくい。印刷物のように表示が変わらない QR コードのことを静的 QR コードという。

## トークン決済

☆☆☆

クレジットカードなどの番号を別の数字に置き換えて通信を行い、支払いを完了させること。

### 【加えて】

安全性を高める方法の一つ。クレジットカードなどの番号を出さずに決済ができるので、カード情報の盗み見や、情報漏洩の危険性を少なくすることができる。

## ドングル (dongle)

☆☆☆

スマートフォンやタブレット端末に差し込むことができる、カード読み取り機のこと。

### 【加えて】

差し込んだスマートフォンやタブレットをレジとして使うことができる。Square (スクエア) というサービスが代表的である。

## な行

### なりすまし対策

☆☆☆

カードなどを保持する本人以外が、利用できないようにするための対策のこと。

### 【加えて】

不正利用対策の一つ。例えば、クレジットカードの不正利用は、盗難や紛失が原因の一つ。クレジットカードを保持する本人である確認のために、カードの裏に署名欄があったり、暗証番号が設定できるようになっていたり、カードの情報を盗み見されにくいIC (集積回路) が入っていたりと、様々な対策がされている。

### 二次元コード

☆☆

水平方向と垂直方向に情報を持つ表示方式の符号のこと。

### 【加えて】

横方向にしか情報を持たない一次元コードと比較して、情報量が多い。二次元コードの代表的なものにQRコードがある。※一次元コードの説明のイラスト参照

### 日銀ネット

☆☆☆

日本銀行と取引金融機関との間の決済を効率に行うためのネットワークのこと。

### 【加えて】

日本銀行金融ネットワークシステムの略である。

### 入会審査

☆☆

消費者が主にクレジットカード利用の申し込みをしたときに、クレジットカード会社が、属性情報や過去の返済状況を参考にカード発行の審査を行うこと。

### 【加えて】

クレジットカード会社は、審査の内容をもとに利用可能限度額を設定するため、利用可能限度額は人によって異なる。

## は行

### バーコード

☆

しま模様の線の太さによって数値や文字を表す符号のこと。

#### 【加えて】

一次元コードともいう。

例えば、スーパーやコンビニの商品のパッケージにはバーコードがついており、レジにある機械で商品情報を読み取ることができる。読み取った情報は会計や在庫管理などに活用している。※一次元コードのイラスト参照

### バーチャル・カード (virtual card)

☆☆☆

インターネット上での支払い限定で使える 16 ケタの番号のこと。

#### 【加えて】

実店舗で支払いに利用することはできない。物理的なカードではなく、クレジットカード番号の代わりに 16 ケタあるいは 16 ケタ未満の番号で決済をすることができる。万が一この番号が漏洩しても、簡単に変更ができるため、不正利用を最小限に防ぐことができる。バーチャル (Virtual) とは仮想を意味する。

### ハウスカード (house card)

☆☆☆

発行する会社が経営するお店でのみ利用できる、国際ブランド (JCB、マスターカード、ビザなど) がついていないクレジットカードのこと。

#### 【加えて】

主にスーパーマーケット・百貨店・ガソリンスタンドが発行することが多い。お店独自の特典やサービスなどが受けられるというメリットがある一方で、使える場所が特定のお店に限られる。

### はらいこみひょう 払込票

☆☆☆

所定の期限までの支払いを求めするために発行された請求書で、銀行窓口やコンビニのレジなどに直接持参して支払いをすることができる。

#### 【加えて】

バーコードなどが印字されているものもある。

### バリュー (value)

☆☆☆

商品やサービスを購入する際に必要な価値のこと。

#### 【加えて】

紙幣や硬貨などの現金だけでなく、電子マネーに入っているお金をバリューと呼ぶことがある。バリュー (value) とは価値を意味する。

### ハンドリング・コスト (handling cost)

☆☆☆

取扱いに係る費用のこと。

#### 【加えて】

お店を運営するにあたって、つり銭の用意や店内の安全管理、現金を銀行に持ち込む際の手間や費用のことを、現金のハンドリング・コストという。

## ビジネスカード ☆☆☆

コーポレートカード参照。

## 被仕向 ☆☆☆

お金の振込において受け取る側の金融機関のこと。

### 【加えて】

反対に、送る側の金融機関を仕向と呼ぶ。※仕向のイラスト参照

## 非接触型 IC カード ☆☆

タッチ式の支払いができる集積回路が入ったカードのこと。

### 【加えて】

電子マネーや社員証が代表的。磁気を使ったカードに比べて、カードに記録されたデータの安全性が高く偽造や変造がしにくい。※IC カードのイラスト参照

## フィッシング詐欺 ☆☆

銀行やオークションなどの正規のサービスを装い、利用者の ID パスワード、クレジットカード番号等の情報をだまし取ること。

### 【加えて】

なりすましメールを送り、そこから不正サイトに誘導し情報をだまし取る手口が代表的である。フィッシング (fishing) やフリーキング (phreaking) が語源との説がある。

## ブランド・デビット ☆☆

国際ブランド対応のお店で使えるデビットカードのこと。

### 【加えて】

クレジットカードの国際ブランドの決済機能を利用して、クレジットカードが使えるお店やネットショッピングで利用できる。支払いで使用すると、連動した銀行口座から即時に引き落とすことができる。

## ブランド・プリペイド ☆☆☆

国際ブランド対応のお店で使えるプリペイドカードのこと。

### 【加えて】

クレジットカードの国際ブランドの決済機能を利用して、クレジットカードが使えるお店やネットショッピングで利用できる。チャージ方法は、現金、コンビニでの支払い・インターネットバンキング・クレジットカードなど、カードによって異なる。

## ブランド・ライセンスフィー (brand license fee) ☆☆☆

イシューア (利用者と契約する決済会社) とアクワイアラー (お店と契約する決済会社) が国際ブランドに対して支払う手数料のこと。

【加えて】

アセスメントやブランドフィーともいう。国際ブランドのクレジットカードや、ブランドデビットカード、ブランドプリペイドカードを使った際にかかる手数料である。国際ブランドが、イシューアとアクワイアラーにライセンス発行する対価として支払われる。※アクワイアラーのイラスト参照

ふりかえ  
振替

☆☆

同じ銀行の同じ支店内でお金を移動させること。

【加えて】

口座の持ち主である本人名義同士に限られ、手数料は基本的に無料。自分のお金を別の口座に移動させる手段として使われる。一般的に本人名義同士の中でも、別の銀行（別の支店）の口座への送金は、振込になる。

ふりこみ  
振込

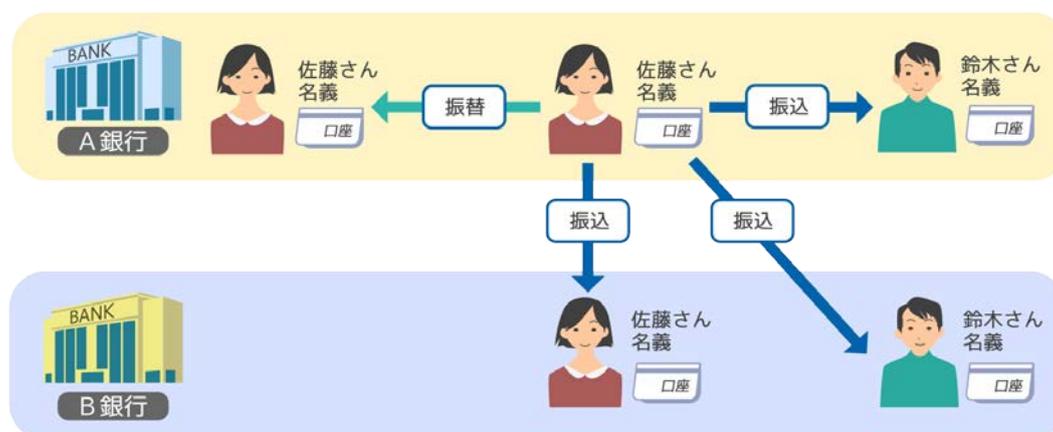
☆☆

他の銀行や他の支店の口座にお金を送金すること。

【加えて】

同じ銀行、同じ支店、本人名義同士での送金の場合は振替になる。

<振替・振込の違い>



プリペイド (prepaid)

☆☆

先にお金を払ったり、入金したりして、その分の商品やサービスを後で購入すること。

【加えて】

前払い式、前払式支払手段ともいう。

プリペイドカード (prepaid card)

☆

先にお金を払ったり、入金したりして、その分の商品やサービスを購入することができるカードのこと。

【加えて】

前払い式のお金の払い方になる。

プロセッサー (processor)

☆☆☆

決済代行サービスを提供する会社のこと。

【加えて】

決済代行業者ともいう。

**ブロックチェーン** (blockchain)

☆☆☆

取引履歴を暗号技術によって過去から1本の鎖のようにつなげ、ある取引について改ざんを行うためには、それより新しい取引について全て改ざんしていく必要がある仕組みとすることで、正確な取引履歴を維持しようとする技術のこと。

【加えて】

過去のデータがブロックでつながっていることで、簡単に改ざんやデータ追加をすることができないようになっており、分散台帳技術と組み合わせることで不正が起こりにくい仕組みを実現している。

**プロパーカード** (proper card)

☆☆☆

広義では、クレジットカード発行会社は他社との提携によらず独自に発行しているクレジットカードのことを指す。

【加えて】

狭義では、国際ブランドのライセンスを持つ会社自体が発行するカードのこと。例えば、アメリカン・エキスプレス・カード、JCB自身が発行するクレジットカードがそれにあたる。プロパーカードは発行停止やポイント制度の大幅変更などが起きにくい。

**分散台帳技術**

☆☆☆

集権的な特定の台帳管理主体を置く代わりに、複数の主体(ノード、ネットワーク参加者)による「分散型」での台帳管理を可能とする技術のこと。

【加えて】

全員が同じ記録を共有し合うことで、信頼性が確立し、不正がないことを証明し合う仕組みを実現している。ブロックチェーン技術と組み合わせて使われることが多い。DLT (Distributed Ledger Technology) ともいう。

**ペイ** (pay)

☆☆

支払いのこと。

【加えて】

〇〇ペイ、という使われ方をする。〇〇にはサービス名が入る。

**ペイロールカード** (payroll card)

☆☆☆

給与や賃金の受け取りができるプリペイドカードのこと。

【加えて】

会社は銀行を介さずにこのカードに入金し、受け取った従業員はこのカードでATMでの現金引き出しや、ショッピングでの決済ができるもので、とくにアメリカで普及している。現状、日本では認められていない。(2019年2月時点)

**ポイントサービス (point service)** ☆☆☆

商品やサービスを購入した金額あるいは回数に応じて、ポイントが顧客に付与すること。

【加えて】

顧客はこのポイントを使って商品やサービスと交換したり、購入金額に充当したりすることができる。

**法人カード** ☆☆☆

コーポレートカード参照。

**ポストペイ (post-pay)** ☆☆☆

商品やサービスを先に受け取り、あとで代金を支払うこと。

【加えて】

後払いともいう。

クレジットカードでの支払いや、商品・サービスを受け取った後での請求書のコンビニ支払い、銀行振込などがこれにあたる。後払いともいう。他にはプリペイド（前払い）、リアルタイムペイ（即時払い）がある。

**本人確認** ☆☆☆

銀行や証券などの口座開設を行う際に、求められる身元の確認のこと。

【加えて】

本人確認を徹底することにより、犯罪組織やテロ組織などに資金が流れないようにし、(国際的な) 犯罪を防止することを目的としている。KYC (Know Your Customer) ともいう。

**ま行**

**マーケティング支援** ☆☆☆

お店や会社が、顧客へ商品やサービスを提供する際に、継続的により収益を上げるための仕組みを作る支援をすること。

【加えて】

例えば、中小企業の営業活動を支援するために、キャッシュレス化と組み合わせ、売上データを利活用することが期待される。

**マイレージ サービス (Mirage Service)** ☆☆☆

航空会社が行う顧客へのポイントサービスのこと。

【加えて】

飛行機に乗ると移動距離に比例したマイルと呼ばれるポイントがたまり、マイルに応じて航空券や割引航空券と交換できたり、空席アップグレードなどができたりする。飛行機に乗らない場面でも、様々なお店や会社と連携しているため日々のお買い物などでもマイルをためることができるようになっている。

**前払い** ☆

先にお金を払ったり、入金したりして、後でその分の商品やサービスを購入する方法のこと。

【加えて】

例えば、磁気型や IC 型のプリペイドカード、インターネット上で使えるプリペイドカード、商品券やカタログギフト券等がこれにあたる。前払式支払手段、プリペイドともいう。他には即時払いと後払いがある。

※後払いのイラスト参照

**マルチ・アクワイアリング (multi-acquiring)**

☆☆☆

加盟店（お店）が複数のアクワイアラー（お店と契約する決済会社）と加盟店契約をすること。

【加えて】

例えば、同じビザのブランドであっても、お店は楽天カード・エポスカード・ユーシーカード・イオンクレジットサービス・シティバンク、クレディセゾンなど複数のアクワイアラーと加盟店契約を結んでいる場合がこれに当たる。

関連用語：シングル・アクワイアリング

ら行

**ライアビリティ・シフト／債務責任の移行 (liability shift)**

☆☆☆

クレジットカードの不正利用が発覚した場合の被害に対する責任がイシューア（利用者と契約する決済会社）からアクワイアラー（お店と契約する決済会社）に移ること。

【加えて】

クレジットカードのセキュリティを高めるために、IC チップ型のクレジットカードの利用を促進することを目的に変更されたルール。不正利用が発生した場合、以下ようになる。

- ・ IC チップ型のクレジットカードを利用していなかった場合→イシューアの責任
- ・ IC チップ型のクレジットカードを読み込んで認証しなかった場合→アクワイアラーの責任

**リアルタイム口座振替**

☆☆☆

通常の口座振替では入金までに 2～3 営業日かかるところ、即時に入金すること。

**リボ払い／リボルビング払い**

☆☆

利用金額や利用件数にかかわらず、毎月支払う額がほぼ一定になるクレジットカードの支払い方法の一種のこと。

【加えて】

毎月の支払いが一定の金額になるので、支払いの計画が立てやすいという特徴がある。月の利用金額が増えると、手数料が変動したり支払いの時期が延びたりすることがある。通常の分割払いよりは高くなる傾向があるので、手数料率を確認して、必要に応じて使う必要がある。

**流通系電子マネー**

☆☆☆

スーパーやコンビニなどの流通業者や流通業者傘下のクレジットカード会社などが発行する電子マネーのこと。

【加えて】

nanaco（ナナコ）、WAON（ワオン）などが代表的で、買い物で利用する際に、ポイントがたまる方式の電子マネーが多い。

**レギュレーション (regulation)** ☆☆☆

レギュレーションは規制・規則という意味があり、原則・厳密な決め事という意味でも使われる。

**【加えて】**

キャッシュレスの分野に当てはめると、例えば、金融規制、ブランドルール、アクワイアラー規則などがレギュレーションに当たる。

**レコメンデーション (recommendation)** ☆☆☆

顧客にとって価値があると思われる、興味関心がありそうな情報や商品を提示すること。

**【加えて】**

インターネットショッピングでの買い物の履歴などを参照して、関連する広告の提示を行うなどがある。

レコメンデーション (recommendation) には、推薦や推奨という意味がある。

A～Z

**API (Application Programming Interface) 「エーピーアイ」** ☆☆☆

コンピュータを使った複数のサービス同士でデータをやり取りするための仕組みのこと。

**【加えて】**

異なるサービスを連携することで、消費者にとっては便利な使い方ができたり、サービスを提供する会社にとって新たなビジネスの機会になったりする。更に、会社にとっては、プログラムやデータを共有化しやすくなる。

**ATM (Automatic Teller Machine) 「エーティーエム」** ☆

銀行などが発行するキャッシュカードなどで、お金を預けたり、引き出したりできる機械のこと。

**【加えて】**

残高確認や、他の銀行へ送金もできる。銀行窓口の営業時間外にも利用できる。銀行のほかにコンビニにも置いてある。※キャッシュディスプレイ（現金自動支払い機）は、預金の引き出しの専用の機械のこと。

**BtoB (Business to Business) 「ビートゥービー」** ☆☆☆

会社やお店同士での材料・商品・サービスなどに関する取引のこと。

**【加えて】**

例えば、お店同士の材料・商品・サービス提供に対する支払いとなる。※CtoC のイラスト参照

**BtoC/CtoB (Business to Consumer) 「ビートゥーシー」** ☆☆☆

会社やお店と消費者との間の商品・サービスなどに関する取引のこと。

**【加えて】**

例えば、お店でのお買い物、通信販売やネットショッピングでの買い物などがこれにあたる。※CtoC のイラスト参照

**BtoG/GtoB (Business to Government) 「ビートウージー」** ☆☆☆

行政や自治体と会社との間のサービスなどに関する取引のこと。

【加えて】

例えば、主に行政や自治体が利用する品物やサービスの手配で発生する支払い、道路や鉄道などの公共施設の整備に係る建設などを行う会社に対する契約金の支払いや、また、会社が支払う法人税や個人事業主のお店が支払う所得税などがこれにあたる。※CtoCのイラスト参照

**CAFIS 「キャフィス」** ☆☆☆

クレジットカード決済などの統合ネットワークシステムの一つのこと。

【加えて】

全国の加盟店（お店・企業）とクレジットカード会社や金融機関をつなぎ、取引や決済を処理しており、NTTデータが運営している。他にはCARDNET（カードネット）、国際ブランド決済ネットワークなどがある。

**CARDNET 「カードネット」** ☆☆☆

クレジットカード決済などの統合ネットワークシステムの一つのこと。

【加えて】

全国の加盟店（お店・企業）とクレジットカード会社や金融機関をつなぎ、取引や決済を処理しており、JCBグループの日本カードネットワーク(JCN)が運営している。他にはCAFIS（キャフィス）、国際ブランド決済ネットワークなどがある。

**CAT 端末 (Credit Authorization Terminal) 「キャットたんまつ」** ☆☆☆

クレジットカードが利用できるお店で、消費者が使用するクレジットカードが利用できるものかどうかを確認するための信用照会端末の一つのこと。

【加えて】

CAFISを経由して発行元のクレジットカード会社に問い合わせを行うもので、日本独自規格である。クレジットカードの会員情報、支払い金額、購入消費などのデータがクレジットカード会社に送られる。他にはCCT端末がある。

**CCT 端末 (Credit Center Terminal) 「シーシーティーたんまつ」** ☆☆☆

クレジットカードが利用できるお店で、消費者が使用するクレジットカードが利用できるものかどうかを確認するための信用照会端末の一つのこと。

【加えて】

世界で標準化された規格で、各クレジットカード会社独自の情報処理センターを経由して問い合わせを行う。クレジットカードの会員情報、支払い金額、購入消費などのデータがクレジットカード会社に送られる。その際に、クレジットカード会社はそのデータを取り込み、集計をすることができる機能もついている。他にはCAT端末がある。

**CMS (Cash Management System) 「シーエムエス」** ☆☆☆

グループ経営を行う会社が、グループ全体の資金をまとめて管理し、効率的に資金を運用するシステムのこと。

【加えて】

会社にとっては、支払い業務などにかかる手数料や事務の負担を減らすことができ、余った資金で効率的な活用が期待できる。

CtoC (Consumer to Consumer) 「シートゥーシー」

☆☆

消費者同士での取引のこと。

【加えて】

例えば、仕送りや飲み会代の幹事への支払い、個人間の売買で発生する支払いなどがこれにあたる。P2P (Peer to Peer)、個人間送金などを指す場合もある。※イラスト参照

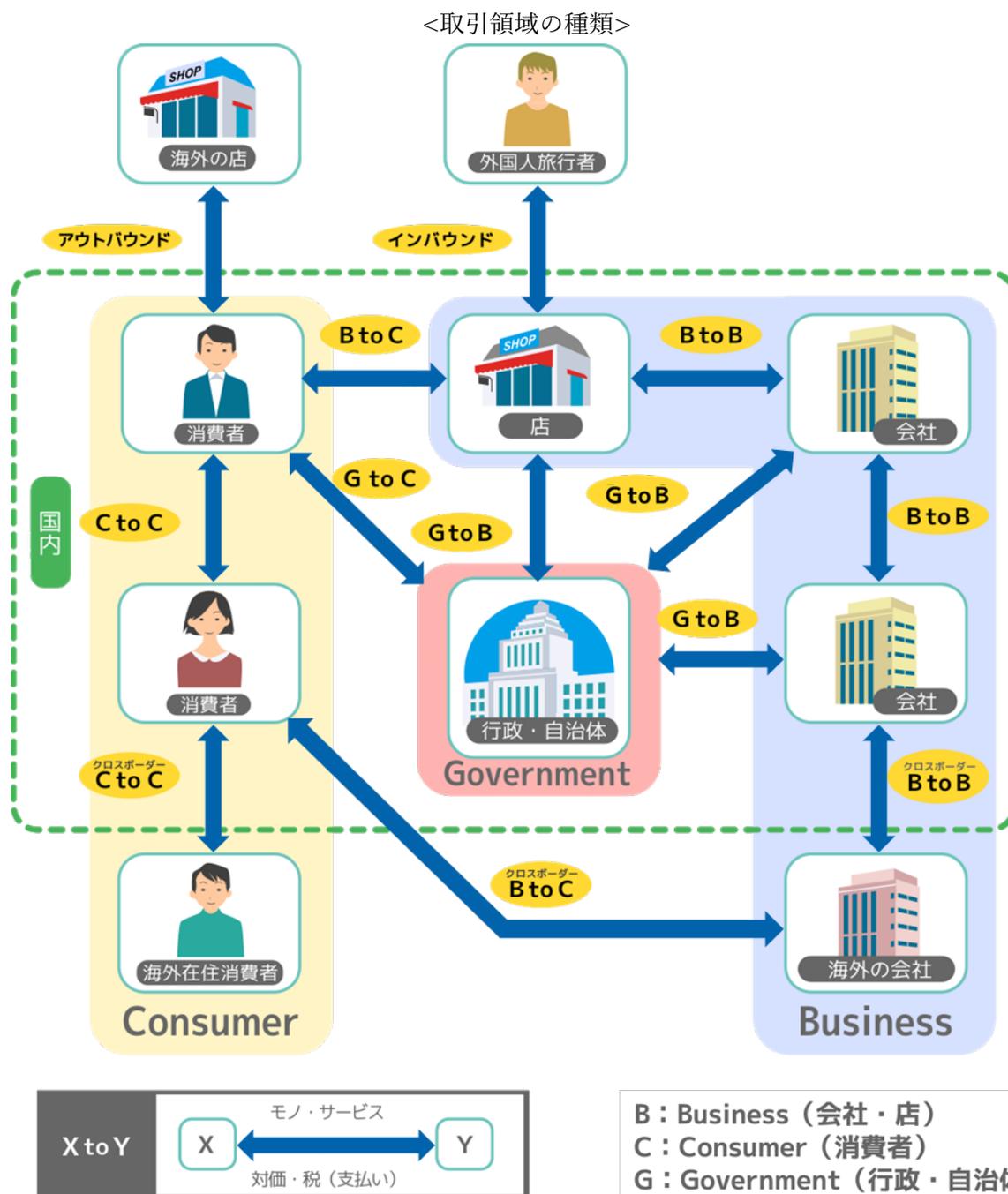
CtoG/GtoC (Consumer to Government) 「ジートゥーシー」

☆☆

消費者と行政や自治体との間のサービスなどに関する取引のこと。

【加えて】

例えば、住民税等の税金納付、住民票の写し等の証明書を取得する際の手数料などがこれにあたる。※CtoCのイラスト参照



CPM (Consumer presented Model) 「シーピーエム」

☆☆

消費者がスマートフォンにバーコードや QR コードを表示させて、お店が読み取って支払いする方式のこと。

【加えて】

消費者提示型ともいう。バーコードや QR コードを使って支払いをするコード決済の種類の一つ。反対に、お店がコードを表示する方式を MPM という。※コード決済のイラスト参照

DLT (Distributed Ledger Technology) 「ディーエルティー」

☆☆☆

集権的な特定の台帳管理主体を置く代わりに、複数の主体(ノード、ネットワーク参加者)による「分散型」での台帳管理を可能とする技術のこと。

【加えて】

全員が同じ記録を共有し合うことで、信頼性が確立し、不正がないことを証明し合う仕組みを実現している。ブロックチェーン技術と組み合わせて使われることが多い。分散台帳技術ともいう。

EC サイト (EC:Electronic Commerce) 「イーシーサイト」 ☆☆☆

インターネット上でお買い物や取引ができるウェブサイトのこと。

【加えて】

ネットショップ、オークションサイト、コンテンツ配信サイトなどがある。

営業時間や休業日の考え方がなく、「いつでも・どこでも・誰とでも」取引を行うことができ、国を超えたやり取りも可能。

EDI (Electronic Data Interchange) 「イーディーアイ」 ☆☆☆

会社間で、専用の通信回線やインターネットを介して支払いに関わる文書の交換を行うこと。

【加えて】

電子データ交換の略語。異なる組織間で、取引のためのメッセージを、通信回線を介して標準的な規格を用いて、コンピュータ間で交換すること。注文書や請求書などの郵送や添付ファイルを送信といった処理を行う必要がなくなるため、業務の効率化が期待できる。

ETC カード (ETC:Electronic Toll Collection system) 「イーティーシーカード」 ☆☆☆

車で高速道路を利用する際に、料金所で停止せずに通過するだけで支払いをすることができるカードのこと。

【加えて】

2001 年から全国の高速道路で一般利用が開始された。

eWallet 「イーウォレット」 ☆☆☆

電子マネーなどを管理する、電子的なお財布の役割を果たすものこと。

【加えて】

直訳すると電子財布であり、日本ではウォレットとも呼ばれる。電子的なお金を所有、保管、使用するためのもので、スマートフォンやパソコン上に作ることができる。

Felica 「フェリカ」 ☆☆☆

タッチ式決済に使われている技術のうちの 1 つのこと。

【加えて】

タッチ式決済とは、カード読み取り機に触れなくても読み取りができる非接触型 IC カードを使った支払いのことを指す。

日本では非接触 IC カードの 8 割以上で利用されており、代表的なものでは交通系電子マネーの Suica (スイカ) や PASMO (パスモ)、楽天 Edy (エディ) や nanaco (ナナコ) 等の電子マネーに活用されている。

Fintech 「フィンテック」 ☆☆☆

金融 (Finance:ファイナンス) と技術 (Technology:テクノロジー) を組み合わせた言葉で新しい金融サービスが生まれる動きのこと。

【加えて】

Fintech によって生み出されたサービスには、スマートフォンを使った決済や送金サービス、銀行口座やクレジットカードをまとめて管理できるサービスなどがあり、キャッシュレス社会を後押しするものも登場している。

IC カード (IC: Integrated Circuit) 「アイシーカード」

☆

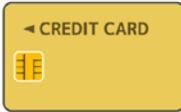
集積回路が入ったカードのこと。

【加えて】

磁気を使ったカードに比べて、カードに記録されたデータの安全性が高く偽造や変造がしにくい。

接触型 IC カードは、カード読み取り機に差し込み、直接接触させて読み取る方式で、クレジットカードが代表的である。非接触型 IC カードは、カード読み取り機にタッチしたり、かざしたりして読み取らせるカードのこと。タッチやかざすだけで利用でき、電子マネーや社員証などに活用されている。

<IC カードの種類>

	接触型ICカード	非接触型ICカード		
概要		 ICチップが内蔵されている		
規格	ISO/IEC 7816	NFC		
		Type-A	Type-B	Felica
特徴	業界やサービスに特化した仕様が作成されている。 クレジットカード等の金融向けにはEMV仕様と呼ばれる標準仕様があるため、世界各国で利用できる。	安価な生産が可能 世界各国で利用されている	高いセキュリティ (CPU搭載) 標準化しやすい 世界各国で利用されている	高いセキュリティ (CPU搭載) 情報処理速度がTypeA/Bの2倍 日本における圧倒的なシェア
利用用途例	クレジットカード  ※接触型に加えて非接触型も兼ね備えている場合もある	学生証・社員証  Taspo 	運転免許証  パスポート  日本国旅券  住民基本台帳カード 	交通系/流通系電子マネー  ICカード  おサイフケータイ 

IRF (Interchange Reimbursement Fee) 「アイアールエフ」

☆☆☆

クレジットカードでの支払いがあった際に、アクワイアラー（お店と契約する決済会社）がイシューア（利用者と契約する決済会社）に支払う手数料のこと。

【加えて】

アクワイアラーはお店（加盟店）から加盟店手数料を徴収するため、最終的に加盟店が負担していることにな

る。一般的にはインターチェンジ・フィーだが、ビザにおける手数料のことを特に IRF と呼ぶ。※アクワイアラーのイラスト参照

### J-Debit 「ジェイデビット」

☆☆

日本の金融機関で発行されたキャッシュカードでお金を支払うサービスの名称。

#### 【加えて】

お買い物や食事代の支払いで使用すると、代金が預金口座から即時に引き落とされるデビットの1つ。他にはブランド・デビットがある。※「JAPAN (ジャパン)」の「J」と「Debit (デビット (本来は「借方 (かりかた)」という意味))」を組み合わせた造語。

### J-Mups 「ジェイマップス」

☆☆☆

インターネット回線を活用した決済システムで、クレジットカード・電子マネー・デビットカードが1台の端末で対応可能なクラウド型のサービスの一つ。

#### 【加えて】

日本カードネットワークと JR 東日本メカトロニクスが共同で運営している。

インターネット回線を活用することで決済処理のスピードが速いという特徴がある。端末は、JR 東日本メカトロニクスの製品を使用している。

### KYC (Know Your Customer) 「ケーワイシー」

☆☆☆

銀行や証券などの口座開設を行う際に、求められる身元の確認のこと。

#### 【加えて】

単に本人確認ともいう。身元の確認を徹底することにより、犯罪組織やテロ組織などに資金が流れないようにし、(国際的な) 犯罪を防止することを目的としている。

### MDR (Marchant Discount Rate) 「エムディーアール」

☆☆☆

消費者がキャッシュレス手段で支払いをした際に、お店(加盟店)が決済サービス会社に支払う手数料のこと。

#### 【加えて】

クレジットカード決済では、加盟店がアクワイアラー(お店と契約する決済会社)に支払う手数料のことを指し、ビザ・マスターカードにおける呼び方である。一般的には加盟店手数料と呼ばれ、JCB では加盟店割引料という。

### MPM (Marchant Presented Mode) 「エムピーエム」

☆☆

お店が QR コードを表示し、消費者が読み取って支払いをする方式のこと。

#### 【加えて】

店舗提示型ともいう。バーコードや QR コードを使って支払いをするコード決済の種類の一つ。反対に、消費者がスマートフォンにコードを表示させる方式を CPM という。※コード決済のイラスト参照

### mPOS 「エムポス」

☆☆☆

スマートフォンのアプリと専用のカード読み取り機を利用して、手持ちのスマートフォンやタブレット端末で簡単にカード支払いができるシステムのこと。

【加えて】

mPOS の読み取り機は、無線や持ち運び可能な dongle で、固定のレジだけでなくどこでも支払いができるという特徴がある。モバイル (mobile) の m と、POS (Point of Sale : ポス) を組み合わせた言葉。

NFC (Near Field Communication) 「エヌエフシー」

☆☆☆

タッチ式決済に使われている技術のこと。

【加えて】

タッチ式決済とは、カード読み取り機にタッチしたり、かざしたりする非接触型 IC カードを使った支払いのことを指す。大きく TypeA・TypeB・Felica (フェリカ) の3つに分けられる。TypeA・TypeB は世界標準のものとして広く利用されている。日本では、TypeA はたばこの購入に必要な Taspo カード、TypeB はよりセキュリティレベルの高い規格であるため、運転免許証やキャッシュカードに使われている。Felica は日本では非接触型 IC カードの 8 割以上で利用されており、代表的なものでは Suica (スイカ) や楽天 Edy (エディ) や nanaco (ナナコ)、WAON (ワオン) 等の電子マネーに活用されている。※IC カードのイラスト参照

P2P 送金 (Peer to Peer) 「ピートゥーピー、ピアトゥーピア」

☆☆

消費者の間でのお金のやり取りのこと。

【加えて】

仕送りや飲み会代の幹事への支払い、個人間の売買で発生する支払いなどがこれにあたる。CtoC の支払い、個人間送金ともいう。

Pay-easy 「ペイジー」

☆☆

税金や公共料金、各種料金の支払いを、インターネット・バンキングや ATM などの手段を用いて支払いできるサービスのこと。

【加えて】

日本マルチペイメントネットワーク運営機構が運営し、国内のほとんどの金融機関が加盟している。金融機関の窓口やコンビニのレジに並ばずに済む。

PCI DSS 「ピーシーアイディーエスエス」

☆☆☆

クレジットカードを取り扱うお店や会社において、クレジットカード会員情報を安全に取り扱うことを目的として策定されたセキュリティ基準のこと。

【加えて】

Payment Card Industry Data Security Standard の頭文字をとったものである。国際カードブランド 5 社 (アメリカン・エクスプレス、ディスカバーカード、JCB、マスターカード、ビザ) が共同で設立した PCI SSC (Payment Card Industry Security Standards Council) によって運用、管理されている。

PDS (Personal Data Store) 「ピーディーエス」

☆☆☆

個人情報や行動履歴のデータを、自分で管理し自分のために活用する仕組みのこと。

PFM (Personal Financial Management) 「ピーエフエム」

☆☆

複数の銀行口座やクレジットカードをまとめて管理できるサービスのこと。

【加えて】

預金、資産管理、分析ができる家計簿アプリである、マネーフォワードやマネーツリーなどがこれにあたる。

POS システム「ポスシステム」

☆☆

お店における売上情報を管理するシステムのこと。

【加えて】

POS は、point of sale の略。売れた商品、売れた時間・場所、数、値段などの売上情報を集計し、分析などを行うことができる。レジスターと連動したシステムであり、POS レジとも呼ばれる。

QR コード「キューアールコード」

☆

二次元コードの一種のこと。

【加えて】

水平方向と垂直方向に情報を持つ表示方式の符号である。横方向にしか情報を持たないバーコード等の一次元コードと比較して、情報量が多い。コード決済などに利用される QR コードは、印刷物のように表示が変わらない静的 QR コードと、支払いのたびに電子的に作成される動的 QR コードの 2 つに分類される。

デンソーが製造管理のために開発し、デンソーウェブが特許及び商標を持つ。※一次元コードのイラスト参照

RFID (Radio Frequency Identifier)「アールエフアイディー」

☆☆☆

電子タグと呼ばれる機器に登録された情報を、無線によって読み取る仕組みの総称のこと。

SME (Small Medium Enterprise)「エスエムイー」

☆☆☆

中小企業のこと。

SWIFT「スイフト」

☆☆☆

銀行同士で国際的な取引をする際に、コンピュータと通信回線を利用してメッセージをやり取りするシステムのこと。

【加えて】

国際送金をする際に使われる。世界各国 11,000 を超える金融機関をつないでいる。

UI/UX (User Interface/User Experience)「ユーアイ/ユーエックス」

☆☆☆

商品やサービスを開発するときに、利用者にとって使いやすいかどうかを考える概念のこと。

※UI：利用者の目に触れたり実際に使用したりする部分

※UX：利用者がサービスや商品を使って得られる体験

Unbanked「アンバンクド」

☆☆☆

銀行口座を持たない、非銀行利用者のこと。

XML 電文「エックスエムエルでんぶん」

☆☆☆

国内の会社間でお金を送り合う時に、インターネット上で使用されるデータ送信形式の一つのこと。

【加えて】

送信できる情報量が多いことから、会社同士での支払いに関する事務が大幅に効率化されること等が考えられている。